



# 八中だより



第1号

令和4年4月7日

府中市立

府中第八中学校

すすんで学び  
丈夫なからだで  
みんな仲よく

〒182-0035

府中市四谷一丁目二八二七  
電話 ○四二(三六四)一八八一

〈学校住所・電話番号〉

〈在籍生徒数〉 一学年247名、二学年264名、三学年242名  
全校生徒数753名

★学校だより  
へのご意見、  
ご感想をお待  
ちしています

入学、進級おめでとうございます

校長 高汐 康浩

学校周辺には桜の花や色とりどりの花が咲き誇り生徒たちを優しく迎えてくれます。厳肅な雰囲気の中、期待や不安をもちながら瞳をキラキラ輝かせながら、新入生が入学式に堂々と臨みました。新入生の保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。心からお慶び申し上げます。そして、新二年生、新三年生の皆さんには、これまでの活躍にエールを送るとともに、これからの成長を期待しながら、進級をお祝い申し上げます。府中第八中学校の教職員一同、生徒たちがよいスタートを切れるよう一生懸命、始業の準備をしました。

さて、私はこの四月に着任しました校長の高汐康浩（たかしお やすひろ）と申します。どうぞよろしくお願いたします。本年度がスタートし数日しか経っていませんが、早速、保護者の方、地域の方からたくさんのお話を伺うことができました。地域の方々からは励ましのお言葉をたくさんいただきました。そして、皆さんが生徒たちに積極的に関わってくださっていることに心から感謝いたします。生徒がもっている力をどのように引き出し、どのような場面で発揮させるかは、生徒たちの成長を見守っている大人の役割であると思っております。今後引き継ぎ、学校の教職員はもちろんです。保護者の皆様、地域の皆様にもそれぞれの役割の中で本校の生徒たち一人一人に寄り添い、向き合っていたただければと思っております。



二宮尊徳が残した言葉に、「かわいくば、五つ教えて三つ褒め、二つ叱ってよき人となせ」というものがあります。子供を育てる本質を言い当てているのではないかと、思っております。生徒たちのよいところを見つけたら間髪を入れずに褒めます。褒められれば気分がよくなり頑張れる、頑張れるからうまくいく、うまくいくから褒められるという歯車を回しましょう。しかし、叱るべきときは、タイミングを逃さず、はっきり、きっちり叱ることも忘れてはいけません。叱られて、褒められることの価値が分かることも多くあります。叱られて、褒められること、今年度も府中八中の教育目標

『すすんで学び、丈夫なからだで、みんな仲よく』

を掲げ、

- ・ 主体的に学びに向かう力を育てる教育
- ・ 豊かな知性を育てる教育
- ・ 豊かな感性を育てる教育
- ・ 豊かな社会性を育てる教育
- ・ 規範意識、基本的な生活習慣を育てる教育

（自己実現力の育成）

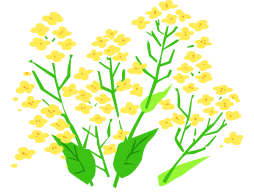
地域の安全文化を醸成する力を育てる教育  
を行うために、教職員一丸となって取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いたします。



## 『正直は宝』一緒に成長していきましょう」

・・・ 佐藤 禮緒さんの力強いメッセージ

(第50回入学式の「歓迎の言葉」から)



### 『新入生歓迎の言葉』

あたたかな日差しが（雨：めぐみの雨が）降り注ぎ、多摩川の生き物たちも、生き生きと春の日を過ごしています。新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。在校生一同、皆さんの入学を、心から歓迎致します。

今日から、八中生としての新しい生活がスタートします。新入生の皆さんに安心して学校生活を送ってもらうため、在校生を代表し、八中のことをお話しします。

八中は、「挨拶・合唱・部活動」に力を入れている学校です。

八中生は、挨拶は、自分からという意識があります。先生や友達とも積極的に挨拶を交わしていきます。挨拶をすることで、互いに信頼関係を築き上げることが出来ます。皆さん、気持ちのよい挨拶を心がけていきましょう。

八中は、「合唱」に意欲的に取り組んでいます。音楽は、心を豊かにするものです。誰もが皆さんの音楽に触れ、全員で一体となって合唱する。これにより、落ち着いた学校生活を送っていると思います。新入生の皆さんと一緒に歌える日が、今からとても楽しみです。

八中生は、みんなが一生懸命に、「部活動」に取り組んでいます。一つのことを三年間続けることで、たくさんのことを学ぶことができます。皆さんの入部を心待ちにしています。

いかがでしたか。八中のことが少しは伝わったでしょうか。八中の「挨拶・合唱・部活動」を、新入生の皆さんも一緒に頑張ってください。

最後に、中学校生活を成功させる秘訣をお伝えします。それは、正直でいることです。中学校生活で、失敗や過ちをおかしてしまうことがあると思います。そのときに、嘘をついてごまかしたり、人のせいにしてたりせず、正直に自分の失敗や過ちを認めることが大切です。そうすることで、しっかりと自分自身と向き合い、心から反省することが出来ます。正直であることが自分の成長へとつながる、つまり「正直は宝」です。私たちも「正直は宝」を実践しています。みなさんも、「正直は宝」を胸に、この府中第八中学校で、一緒に成長していきましょう。

令和五年四月七日

在校生代表

佐藤 禮緒

## 春の交通安全運動

### 《運動の全国重点》

- 1 こどもを始めとする歩行者の安全の確保
- 2 横断歩行者事故等の防止と安全運転意識の向上
- 3 自転車のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底

### 《運動期間》

令和五年五月十一日（木）から

二十日（土）までの十日間



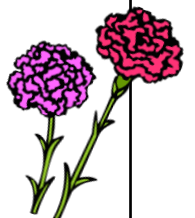
## 令和5年度 教職員一覧

校長		高 汐 康 浩		副校長	平 賀 徹	
学年 学級		担 任		副 担 任		
1 学 年	A組	井 上 幸 治 (技術)		永 田 梨 香 (国語)		<b>【主任養護教諭】</b> ○濱田 聖子 <b>【非常勤教員】</b> 安藤 暁(数学) 金 幹博(数学) <b>【都事務】</b> 山口 摩耶 <b>【市事務】</b> 平岡 恵 <b>【用 務】</b> 根本 政明 <b>【スクールカウンセラー】</b> 石坂 綾 原 多満子 <b>【特別支援教室専門員】</b> 山下 靖夫 <b>【講師】</b> 磯部 博子 (国語) 有村 治世 (理科) 北島 裕子 (保体) 小川 遼 (保体) <b>【支援員】</b> 副校長支援： 小埜 イツ子 市川 万知子 丸山 悦子 藤倉 和江 図書支援：栗谷 千衣子 学習支援： 寺村 久美子 松浦 公子 生活特支：澤井 えり子 学校支援員等： 橋本 由理子 菊池 裕喜 人見 天 阿部 敏子 森下 恵美子 金子 ユミ子 <b>【家庭と学校の連携推進委員】</b> 小埜イツ子 <b>【地域コーディネータ】</b> 山原 充 丸山 悦子
	B組	城 山 理 央 (英語)		□宮 田 聖 一 (社会)		
	C組	渡 邊 来 騎 (美術)		馬 場 安希子 (数学)		
	D組	坂 口 幸 代 (英語)		◎岸 正太郎 (理科)		
	E組	榎 本 恵 子 (英語)		市 川 陽 子 (保体)		
	F組	仙 浪 拓 哉 (数学)		(○濱 田 聖 子 (養護) )		
	G組	△綱 島 剛 (保体)		( 安 藤 暁 (数学) )		
2 学 年	A組	◎尾 本 昌 克 (英語)		松 本 佳 子 (国語)		
	B組	平 野 早 織 (保体)		※金 沢 雄 太 (数学)		
	C組	酒 井 俊 嘉 (音楽)		高 田 重 也 (理科)		
	D組	曾 原 唯 (英語)		鈴 木 一 真 (理科)		
	E組	鳴 川 裕 美 (家庭)		長 沼 健 一 (美術)		
	F組	大 森 洋 明 (数学)				
	G組	長 井 忍 (社会)				
3 学 年	A組	三 浦 雄 悦 (保体)		宮 川 直 美 (社会)		
	B組	秋 山 由 佳 (国語)		細 井 俊 吾 (数学)		
	C組	戸 嶋 優 大 (英語)		麻 生 晃 平 (数学)		
	D組	萩 原 茂 樹 (社会)		▽平 田 美 和 (英語)		
	E組	馬 場 雅 美 (国語)		◇川 口 道 世 (英語)		
	F組	小 島 直 也 (理科)		( 金 幹 博 (数学) )		
	G組	◎横 溝 明 子 (音楽)				

## 教職員の退任、転出、転入

◎転 入	高 汐 康 浩	校 長・経 営	府中市立府中第二中学校	より
	綱 島 剛	主幹教諭・保 体	府中市立府中第三中学校	より
	大 森 洋 明	主任教諭・数 学	青梅市立新町中学校	より
	榎 本 恵 子	主任教諭・英 語	府中市立府中第十中学校	より
	麻 生 晃 平	教 諭・数 学	新規採用	
	曾 原 唯	教 諭・英 語	新規採用	
◎転 出	佐 藤 光 宏	校 長・経 営	府中市立府中第六中学校	へ
	高 岡 勝	主任教諭・保 体	練馬区立石神井東中学校	へ
	山 崎 芽 生	教 諭・英 語	あきる野市立西中学校	へ
◎定年退職	市 川 健 治	主幹教諭・数 学		
◎退 職	迫 龍 太	主任教諭・数 学		
	曾 原 唯	教 諭・英 語	本校で新規採用	

よろしく  
お願い  
します!



## 『自他の尊重』（始業式の話の一部）

令和五年度が始まりました。コロナ渦ではありませんが、桜の季節に、文字通り春爛漫を楽しんでいるのではないのでしょうか。そんな季節に、皆さんはそれぞれ進級して今ここにいます。まずは、進級おめでとう。そして、春休み中に大きな事故・怪我の報告もなく、皆さんが元気に登校してくれたことをまず喜びたいと思います。

ここにいる、新三年生、新二年生の皆さんは、昨年度まで八中を歩かせてくれた原動力となってくれました。本当に素晴らしいことです。新三年生は最上級生になりました。今年度は義務教育の最終学年になります。一年上の先輩がそうであるように、皆さんは、一年後の今日は新しい環境でその日を迎えています。八中での最後の一年間を毎日毎日大切に過ごしてください。また、新二年生も上級生になりました。先輩が明日入学してきます。皆さんがそうであったように新入生から憧れられる二年生の集団を作り上げてほしいと思っています。誰もが気持ち新たによいスタートを切ろうと思っています。スタートのこのときに少しでも参考になればと思います、ある詩を紹介합니다。

〔武者小路実篤『武者小路実篤詩集』から「一個の人間」を〕

紹介しました。掲載許可をいただいていませんので掲載しません

実は、私自身が若い頃この詩から感銘を受けたのです。若気の至りといえは聞こえがいいかもしれませぬ。私が中学生だった頃、高校生だった頃、大学生だった頃、そんなに経験があるわけでもないのにすべてを分かりきったことのように友達や先輩たちに講釈（こうしゃく）を垂（た）れた（※）ことなどがあつたり、意見の食い違いからぶつかり合ったりしました。今思い出すととても恥ずかしくなつてしまいます。でも、恥ずかしいと思う反面、そんな経験をしたからこそ、たくさんのことを学ぶことができたのだと思っています。インターネットなど便利なものはなかったもので、もっぱら図書館の本が情報源でした。そこで出会ったのが、武者小路実篤詩集のこの詩でした。衝撃的でした。ご本人は生前、本当の名前は「むしやこうじさねあつ」で

あると言っていたようですが、一般的には「むしやのこうじさねあつ」と呼ばれています。隣の調布市には、記念館と実篤公園がありますので、機会があれば訪ねてみてください。

この詩は、「人間の尊厳」をテーマとしています。一個の人間として、自立して生きていくこと、同時に、他人も一個の人間として尊重することの大切さを教えてくれています。このことは人間が幸せに生きていくために不可欠なことだと思ひます。他人に依存的もしくは支配的になり、他人のエネルギーを吸い取って生きるのではなく、自分の中から湧き出る新鮮なエネルギーを活力とすることで生きていくという実感を得ること、そして、一個の人間である他人を尊重し、お互い協力して生きていくことを求め続けたいと思ひます。一個の人間とは自立した人生を送れる人間ということだと思ひます。今、自立する大人になりつつある段階の皆さんに少しでも参考になればと思ひます。

最後ですが、新年度を迎えるにあたり、教職員の皆さんが、生徒の皆さんを指導したり支えたりできるような着々と一生懸命に準備をしてきました。地域の皆さんともお会いしました。地域の皆さんからは、八中が健やかに育つてほしいという強い思いが伝わってきました。教職員の皆さんや地域の皆さんが生徒たちのために本当に真剣に取り組んでいる姿に感動をしているところです。ですから、皆さんは安心して新しいスタートを切つてほしいと思ひます。そして、今年度も先生の言うことをよく聞いて、毎日毎日を大切に、自分自身を磨き続けていきましよう。

※講釈を垂れる（こうしゃくをたれる）……つまらない話を長々と上から目線で話すさま

□■四月■□

新たな決意と目標をもって出発しよう

すすんで学び  
丈夫なからだで  
みんな仲よく

